



福島医発第 325 号(総)

平成 22 年 5 月 10 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻一良

(公印省略)

平成 22 年度「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」の
候補者推薦について(お願い)

標記につきまして、日本医師会長より推薦方依頼が参りました。
推薦基準をご参照の上、該当される個人(団体)がありましたら来る 5 月 24 日
(月) までに本会宛ご推薦下さいますようお願い申し上げます。

なお、該当のない場合もその旨ご報告下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。

日本医師会会長 殿



日がん発第 22012 号
2010(平成 22). 4.20

財団法人 日本対がん協会
会 長 垣 添 忠



平成 22 年度「日本対がん協会賞」と「朝日がん大賞」候補推薦のお願い

拝 啓

春暖の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本対がん協会は毎年、がん征圧活動に功績のあった方々に「日本対がん協会賞」を贈ってその業績を称えてまいりました。これまで 42 回の歴史を重ね、受賞者は 194 人、110 団体になります。また 2001 年度から朝日新聞社の協力を得て新設された「朝日がん大賞」は、第 1 回の大内憲明・東北大学大学院教授（国のマンモグラフィ検診導入に貢献）以来、第 9 回の浅香正博・北大病院長（ヘリコバクター・ピロリと胃がんとの関係を研究）まで、計 10 人、1 団体の方々が受賞されています（肩書きは受賞時）。

受賞者は、9 月 9、10 日に福井市で開かれる「がん征圧全国大会」で表彰いたします。

つきましては、貴管内でそれぞれの賞にふさわしい方々（個人・団体）がおられましたらご推薦いただきたく、お便りを差し上げました。ご多用のところ恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本対がん協会賞は、一次予防、二次予防を含め、がん征圧活動に永年の功績をあげられた医師、保健師、看護師、その他一般の個人・団体を対象といたします（受賞者には表彰盾と記念品を贈呈）。

朝日がん大賞は、創設 10 年を迎えるにあたり、対象は、「がん予防」全般を中心にしながら、がん医療・研究分野、画期的な医療機器の開発、患者・治癒者の活動も視野に入れた幅広いものとします。活動期間は問わず、第一線で活躍している個人・団体を対象とします（受賞者には表彰盾と副賞 100 万円を贈呈）。

両賞とも、各界のご推薦をもとに「日本対がん協会賞選考委員会」（委員長・垣添忠生 日本対がん協会会長）で選考し、9 月 1 日に発表します。

勝手ながら、推薦の締め切りは、6 月 4 日（金）とさせていただきます。下記の書類を同封しましたので、よろしくお願いいたします。推薦書とともに、推薦の参考になる資料がありましたら添付してください。

なお、本件は菊池（Email:kikuchi@jcancer.jp）が担当いたします。推薦書の電子データは、日本対がん協会のホームページ上 <http://www.jcancer.jp/suisen.htm> に掲載しておりますので、ダウンロードしてご利用下さい。なお、推薦の際はハードコピーを菊池あてご郵送下さい。

敬 具

◇同封した資料 1. 「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」推薦の手引き／2. 過去の受賞者一覧

日本対がん協会賞・朝日がん大賞 推薦の手引き

財団法人 日本対がん協会

◇ 日本対がん協会賞

【趣旨】

対がん活動に顕著な功績のあった個人及び団体を顕彰して、がん征圧運動の一層の高揚を図ることを目的とする。

対がん活動とは、広くがん征圧のための運動、事業、研究を指すが、とくに「予防活動」の第一線で顕著な功績を上げた個人（団体）や、多年にわたって地道な活動を続けた個人（団体）に光をあてたい。

【推薦基準】

- ①「多年」とは、おおむね10年以上をいう。
- ②適正ながん知識の普及や啓発に対する功績。
- ③精度の高い各種がん検診の普及や推進に対する功績。
- ④奉仕活動や募金活動に対する功績。
- ⑤がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発での功績。
- ⑥現職の協会関係者は、原則として対象としない。

◇ 朝日がん大賞

【趣旨】

日本対がん協会賞の特別賞として、21世紀（平成13年）から新設した。

対象分野は、日本対がん協会の活動の柱である「がん予防」全般とし、がん征圧に向けた実績をあげ、なおかつ、第一線で活躍している個人・団体を選考する。将来性のある研究の発掘、医療機器類の研究・開発、患者・治癒者の活動やケアなどの分野も対象とする。

【推薦基準】

- ①活動期間は問わない。
- ②将来期待できるがんの予防法や研究を手掛けている個人および団体。
- ③検診法や検診機器で画期的な開発をしたり、挑戦している個人や団体。
- ④患者・治癒者の活動などでがん予防運動に顕著な貢献をしたり、育成したい個人や団体。
- ⑤現職の協会関係者は、原則として対象としない。

◇選考と表彰

- ①選考は、両賞とも「日本対がん協会賞選考委員会」で行なう。
- ②ともに年度賞とし、日本対がん協会賞は個人、団体各数件、朝日がん大賞は1件とする。
- ③表彰は、両賞とも毎年9月の「がん征圧全国大会」で行なう。
- ④日本対がん協会賞には、正賞（レリーフ）と副賞（記念品）
朝日がん大賞には、正賞（レリーフ）と副賞（100万円）を贈る。
- ⑤選考委員会の事務局は、日本対がん協会に置く。

＝2001（平成13）年4月決定

＝2010（平成22）年4月改訂

()年度 日本対がん協会 朝日がん大賞 推薦書

(データが多くなる場合は、2頁に及んだり、別紙に記入していただいても結構です)

推薦団体または推薦者

担当者 (問い合わせ先) E-mailも

候補の所属部門 (または団体・グループ名)

肩書き・氏名 (グループ構成メンバー) ふりがな

年齢 (ことし9月1日現在) 生年月日

住所・連絡先など (グループ代表者名も)
〒

電話、E-mail

推薦理由

推薦理由の元になる研究や実績

主な経歴 (団体の場合は実績など)

受賞歴 (年月、名称、受賞理由など)

()年度 日本対がん協会賞 <個人の部> 推薦書

(データが多くなる場合は、2頁に及んだり、別紙に記入していただいても結構です)

推薦団体または推薦者	担当者 (問い合わせ先) E-mailも
------------	----------------------

候補の氏名・ふりがな 男 女	年齢 (9月1日現在)	生年月日	がん関係への従事歴
職業(勤務先および役職など)			年から 年 ヶ月
現住所 〒		電話、E-mail	
推薦理由			
推薦理由の元になる活動・実績			
主な経歴 (大学・医専などの卒業以降)		受賞歴 (年月、名称、受賞理由など)	

()年度 日本対がん協会賞 <団体の部> 推薦書

(データが多くなる場合は、2頁に及んだり、別紙に記入していただいても結構です)

推薦団体または推薦者

担当者(問い合わせ先) E-mailも

候補の団体名・ふりがな		代表者(役職名と氏名・ふりがな)	
主たる事務所所在地 〒		電話、E-mail	
代表者または事務局担当者への連絡先・電話など			
組織・会員・メンバー構成などの概略(例; 県内○分会、医師○人、保健師○人など)		がん征圧活動歴 年 月から 年 カ月	
推薦理由			
推薦理由の元になる活動・実績			
活動の歴史(経年的に)		受賞歴(年月、名称、受賞理由など)	